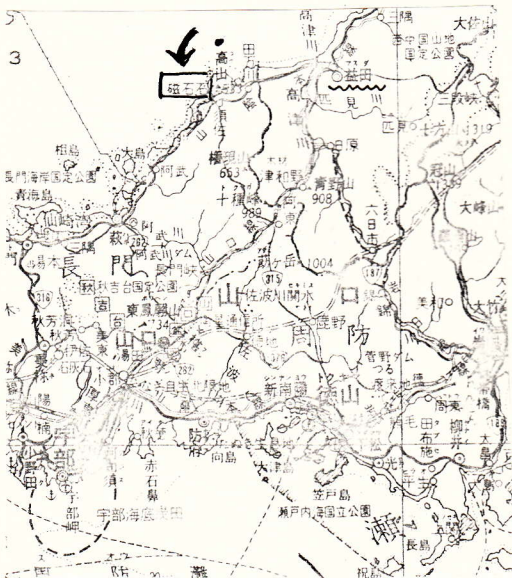


「磁石はなんだ」

ポンヤツと地図 を見ていると...

この夏休み、職業室で「中学校
社会科地図を見ているとき
(新屋書院)
である。「磁石」という文字
が目にとびこんできたのである。

「あれ、これなんだ、地名？」
「いや、こんなかわった地名はない
だろう。場所は、今年の夏、す
ごい集本裏で巡査を受けた「巻
田」の所である。島根と山口県
の県境近くである。



たき、たき、同じ学校に巻田市出身
の教師がいる。「これ、なに?」「地名
?、それとも、こんなものが取れる
の?」。ところが「そんなの知らん
よ」と答えがわかってきた。

磁鉄鉱かな?

地名ではないとすると、毎の「磁鉄鉱」
のことかな。そのとき、サークル
の学習会の場に出して見る。学習会
では、ちょうど「発明発見物語」
(らくしん盤からテレビジョンまで)
をやりはじめたところであり、最初
に「磁鉄鉱」のことについて書いて
あるのである。

「磁鉄鉱」なら昨年の夏、桐原鉄
山まで本かけ、50量に手に入れてい
たのである。しかし、日本では、磁
鉄鉱を手に入れるには、ここかな
いと聞いていたのに、ここにもある
のか...?

学習会では、場所を確認して、それ
で、話は終りがと思っていた。とこ
ろが、話は、それで終りにならなか